



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 積水工機製作所
コード番号 6487 URL <http://www.sekisuikouki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤征一
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 湯川浩次

TEL 072-858-1121

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,209	△29.3	△255	—	△233	—	△285	—
22年3月期第2四半期	3,125	△37.5	△32	—	△18	—	△21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△30.72	—
22年3月期第2四半期	△2.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,156	3,540	49.5	381.65
22年3月期	8,047	3,829	47.6	412.70

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,540百万円 22年3月期 3,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	△4.3	△190	—	△150	—	△230	—	△24.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 9,350,000株 22年3月期 9,350,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 72,178株 22年3月期 71,899株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 9,277,918株 22年3月期2Q 9,278,930株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 受注の状況	12
(2) 販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、国内主要自動車メーカー各社の新車開発需要は、環境対応車と新興国を中心とする自動車販売台数の増加で徐々に回復傾向にあります。しかしながら、激しい受注競争による販売価格の低下が続き、受注は前年を下回る実績となりました。このような状況の中で、当社は、インパネ金型を中心とするブランド戦略を引き続き推進し、リードタイム短縮やコストダウンの「見える化」を通じて、競合他社との価値提供の差別化を進め、顧客ロイヤルティの向上を追求してきました。生産面では、結城工場の大型金型生産体制の整備および東西両工場の技術交流、STPS（セキスイトッププロダクションシステム）活動を推進し、工期短縮やロス・ムダの排除に努めました。また、グローバル戦略として、中国とメキシコ、ポルトガルと新たに相互協力契約を締結し、メンテナンス拠点は17ヶ国26拠点に拡充しました。この結果、金型部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,787百万円（前年同期比16.5%減）となり、営業損失は216百万円（前年同期は150百万円の損失）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、主要顧客の高機能フィルム・シート押出機関連設備の引合いが増加し、受注は大幅に回復しました。これは押出機業界トップ3を目指し、一昨年上市した「高精度厚み自動Tダイ」に加え、「光学用フィルム成形装置」、「超省エネ、超生産性熱可塑性樹脂押出成形設備」等、お客様の満足を得られる製品づくりを最優先とした提案営業が徐々に認知されてきた結果であると考えています。しかしながら、第1四半期の受注が低調に終わったことが影響し、産業機器部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は422百万円（前年同期比57.2%減）となり、営業損失は39百万円（前年同期は117百万円の利益）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,209百万円（前年同期比29.3%減）、営業損失255百万円（前年同期は32百万円の損失）、経常損失233百万円（前年同期は18百万円の損失）、固定資産除売却損等を含め、四半期純損益は285百万円の損失（前年同期は21百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ890百万円減少し、7,156百万円となりました。主な内訳は、資産側においては流動資産が626百万円減少しましたが、これは売上高の減少による売上債権の減少749百万円等によるものです。負債側においては、流動負債は572百万円減少しました。これは仕入債務の減少413百万円等によるものです。純資産においては、四半期純損失等により前連結会計年度末に比べ288百万円減少し、3,540百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で得られた資金は332百万円となりました。主な増加の内訳は、減価償却費183百万円と売上債権の減少749百万円等であり、主な減少の内訳は税金等調整前四半期純損失296百万円と仕入債務の減少413百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動で得られた資金は25百万円となりました。主な増加の内訳は、有形固定資産の売却による収入が206百万円、主な減少の内訳は有形固定資産の取得による支出155百万円が主な内訳です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で使用した資金は185百万円となりました。主な減少の内訳は、長期借入金の返済176百万円によ

るものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ173百万円増加し、1,168百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、第2四半期以降、国内主要自動車メーカー各社の新車開発需要は回復に向かいつつあります。一方、産業機器市場では、高機能フィルム・シート押出機関連設備の需要は、堅調に推移するものと思われま

す。このような状況の中で、金型部門におきましては、インパネ金型のバリュープロポジション（価値提案）を引き続き推進し、結城工場大型化の早期ブランド構築、バルブゲートシステムの商品ラインアップ拡大、STPS活動による短納期化とコストダウンの両立を目指します。またグローバルパートナーの戦略的活用や、インドネシア、スロバキア、中国、台湾でのメンテナンス拠点の補強を進めてまいります。

産業機器部門におきましては、光学フィルム成形技術の強化とカーボンナノチューブなどコンパウンド技術の開発に努め、重点顧客への提案活動の強化により、押出機業界トップ3を目指して取り組んでまいります。

また、現在実施中の固定費削減計画を強力に推し進め、徹底した経費の削減と国の助成策の活用など、全社一丸となって黒字体制の確立に努めてまいります。

当期の通期連結業績予想については、売上高5,700百万円、営業損失190百万円、経常損失150百万円、当期純損失230百万円を見込んでいます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しています。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

・表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失(△)」の科目で表示しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,168,498	994,870
受取手形及び売掛金	1,491,894	2,241,079
仕掛品	350,888	429,539
原材料及び貯蔵品	37,131	39,230
繰延税金資産	89,687	67,027
その他	64,688	59,407
貸倒引当金	△2,500	△4,500
流動資産合計	3,200,288	3,826,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	899,007	933,638
機械装置及び運搬具(純額)	1,144,986	1,060,372
土地	1,631,098	1,883,795
建設仮勘定	—	65,140
その他(純額)	33,110	39,893
有形固定資産合計	3,708,202	3,982,840
無形固定資産		
ソフトウェア	63,346	47,817
その他	5,971	6,020
無形固定資産合計	69,318	53,837
投資その他の資産		
繰延税金資産	87,307	93,239
その他	113,045	113,383
貸倒引当金	△21,214	△22,911
投資その他の資産合計	179,138	183,712
固定資産合計	3,956,658	4,220,389
資産合計	7,156,947	8,047,043
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,515	1,401,561
短期借入金	1,753,320	1,753,320
未払法人税等	10,512	11,630
賞与引当金	74,800	87,300
設備関係支払手形	2,231	8,676
設備関係未払金	1,121	164,054
その他	174,776	151,140
流動負債合計	3,005,277	3,577,683

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	411,700	588,360
リース債務	146,746	—
長期未払金	45,335	45,335
退職給付引当金	7,007	6,597
固定負債合計	610,789	640,292
負債合計	3,616,067	4,217,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	1,109,965	1,394,989
自己株式	△17,147	△17,100
株主資本合計	3,536,969	3,822,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,910	7,027
評価・換算差額等合計	3,910	7,027
純資産合計	3,540,879	3,829,067
負債純資産合計	7,156,947	8,047,043

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,125,970	2,209,612
売上原価	2,786,360	2,149,814
売上総利益	339,609	59,798
販売費及び一般管理費	372,580	315,482
営業損失(△)	△32,970	△255,683
営業外収益		
受取配当金	466	295
仕入割引	1,356	955
補助金収入	10,559	—
助成金収入	14,212	30,741
その他	559	2,630
営業外収益合計	27,154	34,623
営業外費用		
支払利息	12,531	12,130
その他	551	289
営業外費用合計	13,083	12,420
経常損失(△)	△18,898	△233,479
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,696
特別利益合計	—	1,696
特別損失		
固定資産除売却損	—	46,397
その他	—	17,930
特別損失合計	—	64,327
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,898	△296,110
法人税、住民税及び事業税	54,990	3,501
法人税等調整額	△52,423	△14,588
法人税等合計	2,567	△11,086
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△285,023
四半期純損失(△)	△21,465	△285,023

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,079,986	1,336,062
売上原価	1,773,930	1,256,793
売上総利益	306,056	79,269
販売費及び一般管理費	189,320	156,223
営業利益又は営業損失(△)	116,735	△76,954
営業外収益		
仕入割引	596	334
助成金収入	14,212	17,323
その他	503	1,699
営業外収益合計	15,312	19,357
営業外費用		
支払利息	6,319	5,884
その他	225	140
営業外費用合計	6,545	6,024
経常利益又は経常損失(△)	125,503	△63,622
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,696
特別利益合計	—	1,696
特別損失		
固定資産除売却損	—	46,397
その他	—	5,586
特別損失合計	—	51,983
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	125,503	△113,909
法人税、住民税及び事業税	52,318	1,100
法人税等調整額	3,902	4,622
法人税等合計	56,220	5,722
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△119,632
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,283	△119,632

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,898	△296,110
減価償却費	165,866	183,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,911	△3,696
受取利息及び受取配当金	△706	△1,056
支払利息	12,531	12,130
助成金収入	—	△30,741
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,394
固定資産除売却損益(△は益)	—	46,397
売上債権の増減額(△は増加)	1,096,863	749,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	192,977	80,750
仕入債務の増減額(△は減少)	△971,123	△413,045
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63,517	2,776
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,700	△12,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18,045	409
その他	△60,288	△36,082
小計	321,868	293,821
利息及び配当金の受取額	871	844
利息の支払額	△12,229	△12,064
助成金の受取額	—	49,065
法人税等の支払額	△159,652	△3,980
法人税等の還付額	—	5,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,858	332,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,034	△155,570
有形固定資産の売却による収入	—	206,682
その他	△6,335	△25,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,369	25,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△214,160	△176,660
リース債務の返済による支出	—	△8,124
自己株式の純増減額(△は増加)	△233	△46
配当金の支払額	△32,530	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,075	△185,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,564	173,627
現金及び現金同等物の期首残高	539,218	994,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	628,783	1,168,498

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、取扱製品である「金型」及び「産業機器」ごとに包括的な戦略を策定し事業活動を展開しています。

従って、製品セグメントである、「金型」及び「産業機器」の2つを報告セグメントとしています。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,140,117	985,852	3,125,970	—	3,125,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,140,117	985,852	3,125,970	—	3,125,970
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△150,435	117,465	△32,970	—	△32,970

(注) 前第2四半期連結累計期間についても、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しています。
なお、この適用による影響はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,787,351	422,260	2,209,612	—	2,209,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,787,351	422,260	2,209,612	—	2,209,612
セグメント損失(△)	△216,599	△39,083	△255,683	—	△255,683

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	1,884,078	△4.2	1,113,525	△7.7
産業機器	1,284,788	208.3	1,552,965	164.3
合計	3,168,867	32.9	2,666,490	48.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。
2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金型	1,787,351	△16.5
産業機器	422,260	△57.2
合計	2,209,612	△29.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。
2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。